

華嚴寺は月読の南谷村竹林の中にあり、宗旨は華嚴にして、本尊は大日如来、左に釈迦仏〔頭に宝冠を戴いて長一尺計、是華嚴の相なり〕右に開基鳳潭像〔左の手に華嚴經を持、右の手に如意を持〕門の額華嚴寺は黄檗隱元の筆、左右の聯は鳳潭の筆なり。此所は最福寺の延朗上人の住給ひし谷堂の旧跡なり。〔字を寺家の内といふ〕近年鳳潭和尚華嚴宗を再興あらんとて、松尾安照寺を遷して華嚴寺と改め、此地において寂す。〔元文三年二月廿六日八十五歳〕